KANAGAWA UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE for Students JINDAI Style vol.344 2026

vol.344

夢中に、なろう。

神大スタイル

CONTENTS

P1 ── SPECIAL
テクノロジーとのいい距離感。

P5 ── センパイに会いたい／ゼミ・研究室探訪

P7 ── お国じまん／CLUB ROOMS

P9 ── COLORS “NAIL COLORS FOR ME”

P11 ─ 2025年度 学生生活実態調査

TOPICS

学びや暮らしに欠かせないテクノロジー
神大生の本音と専門家の視点をとおして
これからの“ちょうどいい付き合い方”を特集！

神大スタイルWEBでは、▶
たくさんの記事を公開中！

テクノロジーとの いい距離感。

A New Relationship with Technology

スマホやタブレット、PCなどのデジタル機器やAIといったテクノロジーは、いまや私たちの日常に欠かせない存在です。
本特集では、学生編集スタッフが、AI専門家の先生に対談インタビュー。さらに、スマホとの距離感を考えながら過ごす一日を実践。
ますます身近になるテクノロジーと“ちょうどよく”つき合うためのヒントを見つけてみませんか。

「AI」と わたしたち神大生は どう付き合う？

ギモン その1 AIで、日本はどう変わる？

山崎さん AIの進化により、日本の労働環境はこれからどのように変化するのでしょうか？

山口先生 日本は数年遅れでAI先進国であるアメリカの後追いをするケースが多いため、未来を予想するうえで現在のアメリカの状況は非常に参考になるでしょう。

今のアメリカでは、ほとんどの定型処理はAIで行われています。これを受け、数年前から多くの企業で従業員の大量解雇が進行。組織の構造も変化し、「AIへの理解度が高い若手」が、彼らよりずっと年上の先輩を部下に従えるケースも急増しました。

アメリカはもともと実力主義の文化が強いこともあり、日本でまったく同じ状況になるとは言い切れませんが、それでも大きな変革が起きることは避けられないと考えられます。

三浦さん 今後は日本社会でもAIの知識の有無によって格差が生まれそうですね。

山口先生 実は、日本でもすでに格差は生じているんですよ。例えばIT系の職種の平均給与を見てみると、一般的なエンジニアよりも「データサイエンティスト」のほうが100万円ほど高くなっています。さらに、生成AIを扱える「プロンプトエンジニア」は、データサイエンティストよりもさらに100万円ほど高いんです。

三浦さん AI全盛時代に社会で価値を発揮するのは、どんな人材なのでしょうか？

山口先生 AIの進化のスピードはすさまじいので、今はできないことも、短期間で克服してくるでしょう。そのため、「AIにできないことをしよう」と考えるのは得策ではないと私は考えています。AIと競うのではなく、「AIを活用して従来ではなしえなかった成果を出すこと」を目指せる人が活躍していくのではないでしょうか。

ギモン その2 勉強にAI、どう活用する？

山崎さん 大学生が勉強において生成AIをうまく活用するコツはありますか？

山口先生 生成AIを常に批判する意識をもつことが大切です。回答のおかしな点を見つけて指摘できれば、生成AIはより多くのデータを参照するようになるため、どんどん深掘りができます。

山崎さん 生成AIを批判するためには、何が必要ですか？

山口先生 やはり知識です。生成AIを使うみなさん自身がしっかりと勉強して、誤りや違和感に気づける能力を高めなければなりません。つまり、生成AIが出てきたからといって、勉強のスタイルが変わることはほとんどないんですよ。興味がある分野を深く追求していけば、AIと議論しながらより深い学びを得られるようにもなるはず。その営みをとおして、これまでにない速さで成長することも目指せるでしょう。

三浦さん 結局は「自分の頭で考えて、知識を蓄える」ということが大前提なんですね。

山口先生 そうですね。本学に限らず、最近は「生成AIにレポートを書いてもらう学生がいる」なんていう話も耳にしますが、そうやって単位をとることに意味はありません。自分で考えていないのだから当然知識は身についていないし、面接をすれば本人が書いたかどうかなんてすぐにわかりますから。それに、考える力を磨かなければ社会では通用しないので、必ず後悔することになります。

まとめ 大学生はAIとどう付き合うべき？

山崎さん 私たち大学生は、これからAIとどのように付き合っていけばいいのでしょうか？

山口先生 「習うより慣れろ」で、偏見をもったり尻込みしたりせず、どんどん活用することをおすすめします。みなさんはゆくゆく、幼い頃から日常生活の中で当たり前にAIを使っている世代と一緒に働くことになります。彼らと同じ土俵に立つには、とにかく使って慣れておくしかありません。

AIが有する大量の情報をうまく使えることは、これからの時代に輝ける人の条件です。ぜひAIを自分の「相棒」にして、活躍のチャンスをつかみとってください。

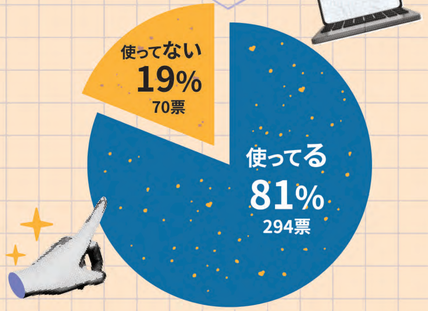
インスタで神大生に聞いてみた。 AIについてアンケート

神奈川大学公式アカウント @kanagawa_univ

まだフォローしていない人は今すぐフォロー！

ご協力ありがとうございました！

Q.1 AIシステム使ってる？



Q.2 AIを使うときに意識していることは？

情報を鵜呑みにしない	45%
依存しすぎないようにする	21%
個人情報を入力しない	20%
特に意識していない	14%

Q.3 どんな目的で使ってる？

- jindaistyle：調べものに使ってます 旅行のプランを立ててもらったり気になったことを聞いたりしてます
- jindaistyle：面接練習 ChatGPTに質問責めしてもらう
- jindaistyle：プレゼンに使う画像作成
- jindaistyle：レポートの作成補助、記述式の参考に
- jindaistyle：筋トレのトレーナーになってもらってる
- jindaistyle：体の調子が悪い時の症状を診てもらっている

◇神奈川大学公式Instagramストーリーズのアンケート機能を使用　実施日：2025年12月2〜3日・2026年1月8〜9日 ／ 総投票数：770

コラム 山口先生はどんな研究をしているの？

山口先生は、約40年間にわたってAIの研究に取り組んできたパイオニアだ。特に、産業の現場で活用できるAIシステムの研究開発に長年取り組んできた。

「一例を挙げると、高速道路のETC設備の点検作業を支援するAIシステムを開発しました。作業員が装着する『スマートグラス』に搭載するシステムで、作業員からの質問に回答したり、作業上の注意点を案内したりできます」

また、近年は各種AI（言語生成AIや画像生成AI、推論AI、AIエージェント、AIサービスロボットなど）の最新の動向や課題、活用事例の研究に注力。人とAIの連携のあり方について、新たな可能性を模索している。AI活用をテーマにした企業や教育機関向けの講演会に登壇する機会も多い。

学生編集スタッフが実践！

スマホに頼りすぎない一日、どう過ごす？

何気なく手に取ってしまうスマートフォン。スマホに頼りすぎない一日をとおして、学生編集スタッフが感じた〝ちょうどいい距離感〟とは？

平日に挑戦！

おがわら　りこ
小河原 莉子 さん
国際日本学部 日本文化学科 2年

8:00 起床

いつもはスマホのアラームで起きるけど、今日は家族に起こしてもらった。スマホをいじらなかったから早めに準備が終わり、朝の時間に余裕ができた。

9:00 通学

スマホで音楽を聴いたりアニメを見ていた時間を教職の勉強にあてることに。スキマ時間をうまく使えたかも！

12:30 昼休み

今日は持参したお弁当をゆっくり味わう。スマホを見ないで過ごしたので、時間を持て余しちゃった。

13:00 授業

英語の時間にリスニングの音声資料を聴きながら回答したり、教職の授業で配付資料を見るのにスマホを使う時間があり、今では授業でも欠かせないアイテムになったんだなと実感。

16:00 帰宅

電車が遅延していて、スマホに頼らずにいたら乗り換えや迂回情報を細かく調べられず、帰りが40分遅くなった…。

21:00 自由時間～就寝

今日は読書をして過ごすことに。いつもは電話したりするので少しさみしかった…。

でも、早く寝たからか体が軽い！？

普段はキャッシュレス決済を利用しているので現金での支払いに戸惑ったり、電車の遅延情報を確認できなかったことで帰宅が遅くなるなど、不便さを実感する場面がありました。一方で、デジタル機器を手放してみると目や体の負担が軽減され、普段後回しにしていたことに取り組む時間が取れるなど、有意義な時間を過ごすことができました。

実践ルール

①なるべく頼らない
②暇つぶしの道具にしない

休日に挑戦！

しらい　としひろ
白井 俊寛 さん
工学部 経営工学科 2年

8:00 起床

前日からカーテンを開けて寝ていたので、太陽の光が目覚ましに。太陽の光だけで起きるなんて、なかなかない経験！

9:00 外出

いつもはスマホで時間を確認していたので、そわそわしながら待ち合わせ場所に向かう。友達と無事合流！

10:30 移動

乗り継ぎ時間などをスマホで調べられなかったので、路線図とにらめっこしながら電車に乗って東京方面へ。

13:00 美術館 に到着

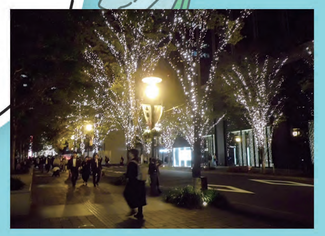
美術館の音声ガイドもまたデジタル。撮影OKの展示では、みんなスマホで作品を撮っていて、「思い出を残しているんだなぁ」としみじみ感じた。

15:30 お店探し

スマホに頼らず街を歩きまわる。情報がなく探すのに時間がかかったけど、やっと見つけた丼物のお店。頼んだ肉飯は最高においしかった！

21:00 東京駅付近散策

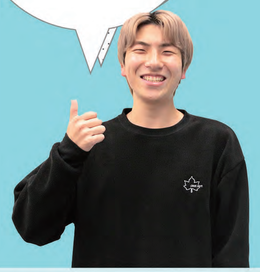
駅前のイルミネーションがキラキラ輝いていて心が一気に温かくなった。いつもはスマホばっかり見てて気づかなかったけど、ちゃんと前を向いて歩くと、こんなにキレイなんだなってびっくりした。



23:00 帰宅

たくさん歩いた！

初めて行く場所の情報を調べたりお店を選んだりする時、スマホはすぐに答えを出してくれます。今回あらためて、その便利さを実感した一方で、何気なく手に取っている自分にも気づきました。結局、スマホは使い方次第で価値が変わるもの。必要な時は頼りつつ、なんとなく触ってしまう時間にはブレーキをかけ、自分なりのバランスを選ぶことが大切だと感じました。



A New Relationship with Technology

※2025年11月取材当時の情報です

● 今のわたしが作られるまでの軌跡 ●

センパイに会いたい

SENPAI file

株式会社ドール
営業本部 関東営業部 主任

小川 眞之介さん（おがわ しんのすけ）
神奈川県出身。2015年3月人間科学部卒業。2017年に営業職として株式会社ドールに入社。2020年には商品部に異動し、産地とマーケットをつなぐパイプ役を任される。2024年には再び営業に戻り、『もったいないバナナ』の販売管理リーダーに就任した。

MY TURNING POINT

大学卒業後は神奈川県社会人サッカーリーグ1部に所属するチームで活躍。写真はケガを克服して4ヶ月ぶりに復帰した際のもの。「リーグ戦最終節の大事な試合で、無事に勝利を収めることができました！」

困難に立ち向かえるのは、挫折があったから置かれる環境や目指す夢が変わっても今までの積み重ねは必ず自分を支えてくれる

みなとみらいキャンパス21階学生食堂『Lighthouse』で販売されているバナナジュースは、株式会社ドールの『もったいないバナナ（傷などの理由で規格外となったバナナ）』が使用されている人気メニューのひとつだ。

今回お話を伺った小川眞之介さんは、そんな『もったいないバナナ』の販売管理リーダーを務めている。

「『もったいないバナナ』の営業をする中で、大学食堂の運営を手がけるお客様とご縁があって。それがなんと神大だったんです。レシピ開発には私も携わったので、ぜひ味わってほしいです！」

また、小川さんは営業職で入社後、商品部に異動し、フィリピンなど海外の生産者や各種業者とやりとりを担当していたという。

「梱包・ラベルデザインの見直しやバナナの輸入数量の調整など、産地スタッフと交渉していました。やりがいのある仕事だった一方で、コミュニケーションが全て英語だったことから何度も難しい局面を経験しました。毎日必死で勉強し、産地の方々とも積極的に交流したことで、業務上のコミュニケーションには困らないまでになりました」

環境の変化と向き合い、キャリアアップした小川さん。その成功の理由は、大学時代の経験にあると話してくれた。

「私は大学時代、大きな挫折を2度経験しました。ひとつは、サッカー部への入部が叶わなかったこと。同学年には伊東純也選手をはじめ、レベルの高い選手がそろっていました。最終的には入部ができず悔しい思いもありましたが、気持ちを切り替えクラブチームでプレーをしていました。もうひとつは、大学3年生の頃に膝の前十字靭帯断裂と半月板損傷という大けがを負い、消防士や体育教師になるキャリアプランが断たれたことです。この2度の挫折を経て、逆境を力に変える前向きさを得られたと思います」

そんな小川さんから、神大生に向けて力強いメッセージをもらった。

「積み上げた努力は、環境が変わっても活きる、ということです。在学生のみなさんも思い描いた未来に進めないときがあっても、今までの努力を信じ、勇気を出して一歩踏み出してください」

on the web

SEMINAR & LABORATORY

ゼミ・研究室探訪

REPORT

ゼミ名称	權 純鎬ゼミナール
学部・学科	経済学部 現代ビジネス学科
研究テーマ	マーケティング（消費者行動）

2年生と3年生がペアになって指定図書の輪読を行い、それに加えて3年生は、「日本広告学会学生広告論文賞」に向けて論文を執筆する。4年生の前学期は引き続き輪読を行い、後学期は卒業論文に専念する。

on the web

非合理的に見える消費者の購買行動を研究「自身で考え、全力でやり切る」が權ゼミのスタイル

權ゼミでは、マーケティング領域の中でも「消費者行動」を研究する。学生は自身で消費者による購買に関する疑問を探し、研究テーマに設定。ゼミ生による研究テーマは多岐にわたり、例えば毎年参加している「学生広告論文賞」（日本広告学会主催）には、広告に含まれるさまざまな刺激要素（広告に含まれる視覚や言語による刺激など）に着目した研究を投稿している。多様な視点から、消費者の購買意思決定における「なぜ？」とそのメカニズム解明に取り組んでいる。

また、權先生は「社会連携に取り組んでいる点も特長のひとつ」と話す。

「今年は、イベント企画、スポーツ・プロモーション、神奈川産学チャレンジプログラム、ホップ栽培プロジェクトに参加しました。ゼミ生には、産学連携活動において、仮説を立てて検証し、その結果を振り返るというPDCAサイクルを意識するように指導しています」

研究に軸足を置きつつ、実践的な学びも得られる權ゼミ。權先生は、指導に際し「口を出さないこと」を徹底しているという。

「学生同士の議論では、内容が本筋から逸れても、予定の時間を過ぎても、基本的に見守っています。その理由は、学生が主体的に考え、試行錯誤しながら結論を導き出す経験を積める環境を提供したいからです。また、私のゼミでは、研究にも遊びにも全力で向き合うことを重視しています。社会が効率を追い求める時代だからこそ、基礎を固める時間がより重要になります。学生のうちは焦らず、誠実に向き合う経験を重ねてほしいと思っています」

そんな權ゼミでは、どんな学生を求めているのだろうか？

「權ゼミは〝ゼミ生がつくるゼミ〟なので、採用も学生が主導します。毎年みんなで話し合って採用したい人物像を決め、それに当てはまる方を採用します。ただ、大前提として自主性があることは必須。やりたいことを自分で見つけ、自ら実現していく人に合うゼミだと思っています」

ゼミの「らしさ」は学生がつくる！
研究もイベントも、全員参加で楽しむ

▲PHOTO:吉原 大翔（自治4）

◀ Member

權ゼミでは、必ず何らかの係（イベント企画や合宿、会合、採用など）に就くことがルール。神大フェスタには毎年出店し、ゼミ生の採用面接にも全員で参加する。誰ひとり傍観者にせず、全員でゼミをつくっていくスタイルだ。

専門知識だけでなく、伝える力、壁を越える力も身につく

▶ Voice _01

講義の軸は、マーケティングの専門書などを読み解く輪読。消費者行動に関する知識が身につくことはもちろん、本の内容を発表することでプレゼン能力も養えます。さらに、社会連携の活動や合宿では、知識を実践的に活用でき、課題解決能力も鍛えられていると思います。

学生の声
高橋（たかはし） あずみさん
経済学部 現代ビジネス学科 3年

頭をきちんと切り替えて、そのときやるべきことに全力を尽くす

▶ Voice _02

權ゼミでは、オンとオフのメリハリをとても大切にしています。勉強にも遊びにも全力で取り組みますが、切り替えはしっかりとする。この姿勢が、理想的な学びの環境をつくっていると感じています。

学生の声
石本（いしもと） 一翔（かずき）さん
経済学部 経済学科 3年

イベントを楽しみながらマーケティングの知識を深められる

▶ Voice _03

權ゼミの特長として、授業以外にもさまざまな学びの場があることが挙げられます。合宿やイベント、神大フェスタでは、それぞれの活動を楽しみながら、実践的にマーケティングを学んでいます。

学生の声
稲垣（いながき） 雅哉（まさや）さん
経済学部 経済学科 3年

実は私、クラフトビール好きなんです！

意外な一面を発見！？

これまで数々のクラフトビールを飲み、過去には日本に一樽しかないビールを味わったことも。でも「一番おいしいビールは？」と聞かれたら、毎日の晩酌で楽しむ1杯かもしれません。

CLUB ROOMS

クラブ・サークル紹介

PICK UP CLUB

ミレ（K-POPダンス）

CLUB DATA　創設｜2021年　部員｜97名

【活動日】
平日夕方～夜、チームごとに集まり活動している。

Instagram

全力で踊って笑って輝く！ダンスでつながる私たちの絆

introduced by...

サークル長

国際日本学部 国際文化交流学科 3年
大杉 優未さん Yumi OSUGI
K-POPもほとんど知らず、ダンスも未経験でしたが、新歓で楽しそうに踊る先輩たちを見て、入会を決めました。先輩やダンス経験者の人が優しく教えてくれますよ！

副サークル長

外国語学部 中国語学科 2年
岸野 華純さん Kasumi KISHINO
神大に入学を決めたのは、神大フェスタで見たミレのダンスに惹かれたから。まだまだ成長途中のサークルなので、一緒に盛り上げてもらいたいです！

チームごとに1年間で3曲仕上げる活動曲を軸に、大会への出場や合宿の開催、神大フェスタへの出演、1年の集大成となる発表会など、さまざまな活動を行っているミレ。創設から4年で97名が所属し、この大人数をまとめるのはサークル長の大杉さん、奥秋さん、副サークル長の細木さん、岸野さんの4名だ。今回はチームを代表し、大杉さんと岸野さんに話を聞いた。
部員の約半数はダンス未経験で入会しており、「K-POPの知識やダンス経験がなくても、誰もが楽しく活動できる環境こそがミレの魅力」と大杉さんは語る。年間をとおして多くの大会に出場しているが、出場は希望者のみ。大会以外にも楽しめる時間を作るために、今年は運動会やクリスマスパーティーなど、全員が交流できる企画にも力を入れている。
岸野さんは1年生の頃、大会曲のリーダーを経験。「チームに貢献したいと思い、リーダーに立候補しました。予選1位通過のプレッシャーはありましたが、責任ある立場でチームをまとめた経験は、自身の成長につながったと感じています」
一方、大杉さんは昨年、イベント係としてミレ初の単独イベント開催に携わった。「手探りの中、いろんな人の協力を得ながら開催しました。慌ただしい毎日に何度も心が折れそうになりましたが、無事に本番を終えた後には達成感でいっぱいに。目まぐるしいながらも充実したこの経験が今に活きています」
そんな2人にサークルへの想いを聞いた。「もっと人数が増えて、大きくなってほしい気持ちもありますが、一番はお互いをリスペクトし合える団体であり続けてほしいです」

活動曲は全てプロに撮影・編集を依頼し、youtubeに公開しています。

大会や活動曲で使用する衣装は自分たちで作ったり、加工しています。

on the web

ダンス未経験でも楽しく活動できるサークルです！

お国じまん JAPAN

from WORLD

お国じまん 01

東洋一の美しさを誇る与那覇前浜ビーチ

真っ白な砂浜と青い海が全長7kmにもわたって続く与那覇前浜ビーチは、"東洋一の美しさ"ともいわれています。高校時代は部活動でビーチサッカーをおこなったり、成人式の日は振袖で写真を撮ったりと、思い出が詰まった場所です。

お国じまん 02

大きな道路を大横断！宮国大綱引き

豊作や大漁を祈願して開催される宮国大綱引きは、毎年旧盆の時期に行われる地元の大イベント！抱えられないほど大きな綱を、東軍・西軍に分かれて引き合います。大きな道路を横断して、大人数が全力で綱を引き合う姿は迫力満点です！

お国じまん 03

アレンジ次第で無限に楽しめる宮古そば

かつお出汁であっさりした味わいの宮古そばは、宮古島市民のソウルフード！ストレート平麺に豚の三枚肉とかまぼこが載ったスタンダードなものも絶品ですが、宮古そばの魅力はアレンジの豊富さ。具材を変えるだけで、ソーキそばや野菜そば、ゆし豆腐そばにもアレンジ可能です！

TRIVIA ご自慢トリビア

島の安全を守る「宮古島まもる君」

交通安全を願って設置された警察官型の人形で、現在21体が島内各地に点在。実はそれぞれ名前があるので、宮古島を訪れた際は島内のいろんな場所で探してみてください！

人も気候も暖かい、魅力あふれる南の島

沖縄県屈指の観光地として有名な宮古島は、年間を通して温暖な気候が特徴です。真冬でも最高気温は14℃程度と暖かく、雪は降りません。日によっては半袖で過ごせるほどで、冬でもリゾート気分が味わえます。そこに住む人も「細かいことは気にしない」おおらかで、のんびりしている島の気候のように温かい人たちばかりです。
沖縄本島や石垣島と違い、島全体がなだらかで平坦かつ、高い建物も少ない島なので、夜は満天の星空が降り注ぎます。
マンゴーやパイナップル、かつおなどの美味しい特産品も豊富で、神大生の皆さんにオススメしたい自慢の地元です！

経営学部 国際経営学科 3年
和田 京花さん
WADA KYOKA
竹山団地プロジェクトをとおして地域活性化に貢献するサッカー部に惹かれ、神大に入学を決めました。今はマネージャーとして大会に帯同したり、ピッチ内外で活躍する選手の魅力をSNSで発信したりと、チームを裏側から支えています。この経験を活かして、将来はJリーグのフロントスタッフとして、チームと地域、そしてファンをつなぐ架け橋となりたいです。チームを支えながら、選手の魅力を伝えられる存在を目指します！

方言でひとこと
“ワイドー！”
がんばれー！という意味で、スポーツの応援によく使われる言葉です。「ワイドーマラソン」という名前で大会も開催されており、宮古島の人々にとってなじみ深いフレーズです。

出身地はココ！

沖縄県 宮古島市

沖縄本島

三角形みたいな形の島です！

from JAPAN

お国じまん JAPAN ● WORLD

on the web

from WORLD

出身地はココ！

スペイン ビジャレアル

国際日本学部 国際文化交流学科
クロダ（サンチョ）ノアさん
KURODA (SANCHO) NOAH
東京都生まれで2歳からスペインに移住しました。母が日本人のため日本食に親しんで育ち、今はスペインで手に入りにくい納豆やとろろにどハマり中！お酒も好きなので、日本滞在中に居酒屋にも行きたいです。
神大では日本文化や国際文化を学び、将来は日本語を使う通訳になることを目指しています。

母国語でひとこと
“Salud（サルー）”
英語のBless youと同じく、「お大事に」という意味で、くしゃみをしている人がいたら必ず声をかけます。誰も反応してくれないとちょっとへこむくらい、スペインでは大切な習慣です。

「話好き」が集まる、多様な文化の交差点

西にはポルトガル、北にはフランス、地中海を挟んだ南にはモロッコと、様々な国の文化が入り交じるスペインは、地域によって言葉も人々の気質も全然違うんです。ただ、そんな中でも共通しているのは明るくてお喋り好きな人が多いところ！ カフェやバルの文化が根強いので、休日は友達と集まって、とにかくお喋りして過ごしています。日本に比べて休みが長く、夏休みはおよそ3か月！1年のうち、半分くらいは休んでる気がします（笑）この陽気で開放的な雰囲気が、スペインの何よりの魅力だと思います。

TRIVIA ご自慢トリビア

サンタクロースよりも有名な「東方の三賢者」!?

スペインのクリスマスは12月24日から1月6日まで続き、最終日にはサンタクロースではなく3人の賢者から贈り物が届く風習があります。

お国じまん 01

スペイン3大祭りの1つ 火祭り：ラス・ファジャス

元々はお祓いの意味で始まったこのお祭りは、毎年3月中旬に行われます。地域ごとに作られる巨大な人形（ファジャ）は、専門の職人が1年かけて制作する唯一無二の作品。人形は街中に飾られたあと、最終日の夜に燃やされます。

お国じまん 02

夏の定番ドリンク！オルチャタ

スペインの夏は地域によって40℃を超え、冷たい飲み物は必須です。そこで愛されているのがオルチャタ。アーモンドミルクのような味で、細長く甘いパン、ファルトンをディップして味わうのが定番セット！これを飲むと「夏が来た！」と感じます。

お国じまん 03

白く美しい村 ペニスコラ

中世のお城や教会など、歴史的な建造物が多く残る港町・ペニスコラは、その趣深い雰囲気から映画の撮影にも使用されています。高台に登ると、白い街並みと青い地中海全体を一望でき、まさに絶景！地中海側はビーチもあり、休暇を過ごすのにぴったりな町です。

COLORS

［カラーズ］

毎日キャンパスですれ違うあんな人、こんな人。近いようで遠い、そんな彼ら、彼女らの、キャンパスライフを覗いてみたくありませんか？
COLORSは、等身大の神大生にスポットを当て、それぞれのライフスタイルに密着。「神大生がもっと好きになる」「キャンパスライフがもっと楽しくなる」そんな願いも込めて作成しています。

外国語学部
英語英文学科　4年
上野 姫奈さん
就活が終わったのでネイルしました。
ドットが可愛いくてお気に入りです。

法学部
法律学科　3年
森 紫織さん
ひと塗りでめちゃくちゃ綺麗に発色するところが気に入っています。

外国語学部
スペイン語学科　4年
近藤 ゆずさん
指輪を付けている指にお花のデザインを入れました！

化学生命学部
生命機能学科　3年
片山 彩花さん
ネイリストの友達にやってもらいました。
透明っぽいところがお気に入りです！

外国語学部
英語英文学科　2年
竹田 薫海さん
カラーは大人っぽくボルドーにしました。
ワンカラーが1番可愛いです！

化学生命学部
生命機能学科　3年
土田 唯さん
好きなアイドルがしていたネイルのデザインと同じにしました！

国際日本学部
国際文化交流学科　2年
舟崎 千夏さん
ギャルっぽくなりたくてこのデザインにしました。
好きなキャラクターを乗せているのがポイントです！

経営学部
国際経営学科　1年
江頭 妃愛さん
かめ虫っぽいカラーがお気に入りです！

外国語学部
英語英文学科　2年
佐藤　心奏さん
ほんのり茶色がかったピンクと、大好きなキラキラを組み合わせました。

THIS IS MY HAPPY COLOR!

人間科学部
人間科学科　3年
鈴木 音乃さん
セルフでネイルしてます！いちごのイメージでデザインしてみました。

人間科学部
人間科学科　4年
小岩 香澄さん
自分でネイルすることにはまっています。
爪が可愛いと気分が上がります！

外国語学部
英語英文学科　1年
望月 海優さん
大学生になってネイルが自由なので始めました。赤のチェックがポイントです！

外国語学部
英語英文学科　2年
伊東 凜さん
季節にあわせてこの色を選びました。
薬指のパラのパーツがポイントです。

経営学部
国際経営学科　4年
府川 小春さん
イニシャル入りのところが気に入ってます。

外国語学部
スペイン語学科　2年
黒沢 渚那さん
水玉が流行っていて取り入れました。
全部自分でやりました！

人間科学部
人間科学科　3年
谷 香純さん
マグネットネイルを目立たせたかったので、
あえてパーツは無しにしました。

理学研究科博士前期課程
理学専攻生物科学領域　1年
丁 簡姝さん
綺麗に見えるところと、ラインの模様や色のグラデーションが気に入っています。

経営学部
国際経営学科　1年
加藤 由依さん
最近替えたばかりです。レオパードが好きなのでこの柄にしました！

指先でつくるMYカラー！
神大生のネイル特集

『NAIL COLORS FOR ME』

WEBでは、まだまだたくさんの
神大生を紹介しています！

2025年度 学生生活実態調査について

本学学生の生活実態の全体的な傾向を把握し、学生生活や修学支援などの今後の施策を立てることを目的として調査を実施しました。（回答者数2677名）以下のとおり、調査結果の抜粋を報告します。

学生生活支援委員会より

去る2025年10月14日から11月16日までの期間で実施した「2025年度学生生活実態調査」の報告書をまとめましたので、ご報告いたします。本調査は、1983年度の開始以降、隔年で実施しており今回が17回目となります。実施方法は前回（2023年度）と同様に、手軽に回答できるようスマートフォン対応の専用サイトを開設して実施しました。今回はみなとみらいキャンパス開設5年目、また全学部の横浜エリア集約後3年目の調査となります。学生からは幅広い学びや多様な価値観を持った学生との出会いに関するコメントも寄せられ、横浜エリアへの集約を契機として学生の学びや学生生活のさらなる充実が図られている過程の調査報告と言えます。まずは、本調査への回答にご協力いただいた2677名の学部生及び大学院生の皆さんに感謝申し上げ、以下に調査結果の概況を述べさせていただきます。

1. 学生の一週間あたりの学習時間について

一週間あたりの予習、復習に費やす学習時間については、今回調査では「1～5時間」と回答した学生の割合が53.5%と新型コロナウイルス収束後に実施した前回調査の55.4%から大きな変化は見られませんでした。一方で、学生生活で重点をおいていることに対する回答においては「勉強や研究」が27.4%と全体の3割以下であることを踏まえると、学生の学問に向き合う姿勢を高めるべく、大学としても学んで問うことへの興味関心を喚起させる指導の工夫などが取り組むべき課題のひとつであると捉えています。

2. 学生が現在抱えている問題について

進路や就職の悩みが66.2%と最も多く、過去2回の調査と同様の結果であり、大学生に共通する悩みであると考えられます。不安や悩みなどの問題に直面したときの学内の窓口や施設の利用状況については「利用したことがない」が69.3%と最も多い回答でしたが、学内の窓口や施設を利用した学生のうち8割前後の学生が「問題の解決に役立った」（「問題の解決ができた」・「問題の解決がある程度できた」）と回答していることから、学内で相談できる窓口や施設の存在を広く学生に周知し、利用に繋げることが必要であると思われます。

3. 喫煙について

本学では、2022年にスモークフリー（無煙化）推進宣言を掲げて卒煙支援を推進していますが、今回の調査では、喫煙率が5.5%と前回調査の7.3%から減少に転じています。敷地内禁煙については「現状のままで良い」「分煙をさらに徹底」が全体の7割程度を占め、自由記述欄には非喫煙者から喫煙を問題視する回答が多く見受けられるため、健康保持対策や受動喫煙対策を考慮した施策の実施が望まれます。

4. 神奈川大学への満足度について

本学への満足度を点数で表した平均は71.7点で前回調査から2.4点上昇しました。本学への満足度は、学生生活満足度を問う設問との正相関がみられ、学生生活満足度の向上が本学に対する満足度向上のひとつの要素になると考えられます。引き続き、学生の声に耳を傾け、施設の充実や教員との交流の機会の充実などに目を向けていく必要があると感じています。

5. 自由記述欄の記載内容について

自由記述欄に寄せられた回答について、以下に代表的な内容を集約いたします。

●「本学の魅力や特徴」として挙げられていたのは、履修できる講義の幅が広く、より専門的な知識を身につけることができること、総合大学として幅広い学問を学べること、国内外の多様な学生と触れ合うことができること、学内奨学金や就職支援など学生サポート体制が充実していること、図書館など充実した施設が整っていること、学生と教員の距離が近いことや教員の熱意を感じること、横浜の立地に根差した環境やアクセスが良いなどがありました。

●「本学の問題点や改善点」としては、履修制限科目の履修登録時における抽選制度の改善、学生が多いことによるキャンパス各所の混雑、Wi-Fi回線の環境改善、施設や設備の老朽化、喫煙環境の改善、混雑状況や価格設定など学食に対する意見など設備・環境面へのコメント、要望などが多く寄せられ、教職員の対応や学生のマナー・モラルに対する改善を要望するコメントも散見されています。本調査を通じて届けられた学生の声を真摯に受け止め、改善に向けた検討を進めたいと考えます。本学がより魅力的な大学となるよう、引き続き、関係者各位にご協力をお願いする次第です。

※調査結果の一部抜粋をグラフ化しています
※調査結果の詳細は本学ホームページにて公開中です
※QRコードが正常に表示されない場合はブラウザからご覧ください
https://kanagawa-u.box.com/s/tfbtk71wexgz700siiagagcdovop8fb7

アンケート主要調査項目

1 生活全般について
生活費収入・支出／大学納付金／定職・アルバイト／キャッシュレス・電子決済／住居形態／通学手段・時間／学習時間／大学生活で重点を置いていること

2 心と身体の健康について
悩みの内容／相談相手／相談施設について／学生のピアサポート／喫煙について／日常生活のトラブル

3 課外活動について
部活動やサークルへの参加・活動内容／1週間の活動日数

4 図書館の利用について
利用頻度／利用目的／読書時間

5 学生支援体制について
学生生活に関する満足度／身に付けたいこと／実現度予測

6 情報機器・情報発信について
所持している情報機器／メディア、SNSの利用状況／個人情報の開示状況

7 神奈川大学についての満足度

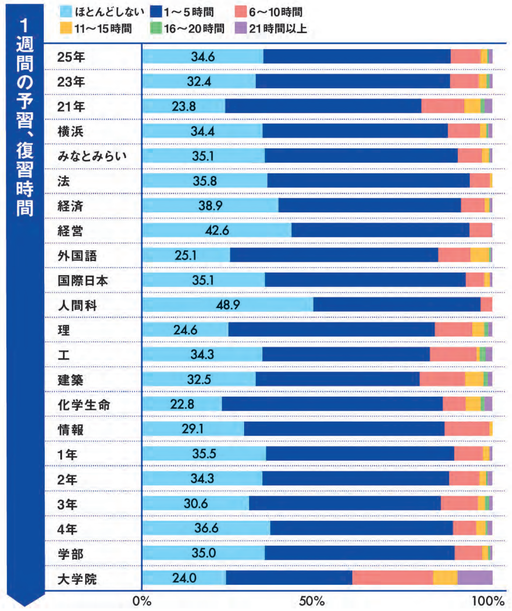
【調査実施期間】
2025年10月14日～2025年11月16日
【回答者数】
学部生：2577名／大学院生：100名

学生生活満足度平均点

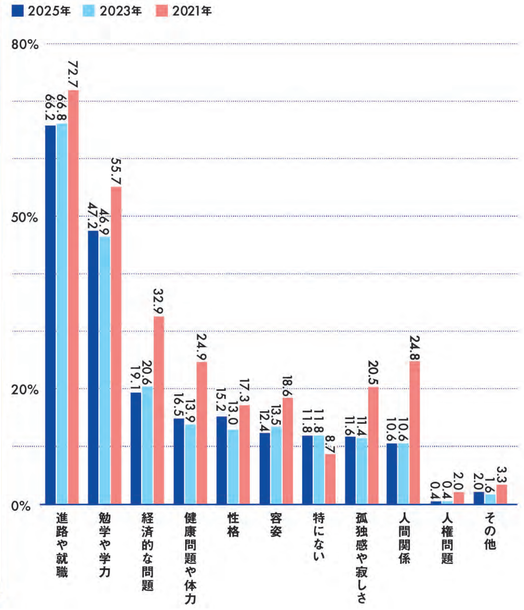
	校舎などの施設について	図書館について	情報処理の設備について	実験・実習・演習等の設備について	学食について	健康管理について	海外留学制度について	大学からの広報・掲示について
25年	3.04	3.44	3.09	3.13	2.94	3.09	3.11	2.97
横浜	2.97	3.46	3.06	3.09	2.93	3.04	3.05	2.93
みなとみらい	3.23	3.38	3.16	3.23	2.98	3.19	3.18	3.05
法	2.99	3.47	3.07	3.09	2.95	3.08	3.00	2.95
経済	2.91	3.45	3.04	3.07	2.92	3.00	3.06	2.96
経営	3.28	3.41	3.13	3.28	2.96	3.19	3.26	3.06
外国語	3.22	3.37	3.25	3.22	3.04	3.16	3.07	3.06
国際日本	3.18	3.36	3.14	3.22	2.99	3.21	3.23	3.05
人間科	3.00	3.55	3.12	3.11	2.92	3.11	3.06	2.95
理	3.04	3.46	3.08	3.15	2.98	3.04	3.14	2.92
工	2.97	3.45	3.07	3.06	2.88	3.02	3.02	2.90
建築	2.84	3.35	2.89	2.93	2.97	3.04	2.84	2.82
化学生命	2.96	3.50	3.01	3.20	2.93	2.92	3.08	3.04
情報	3.00	3.52	2.98	3.04	3.07	3.10	3.18	2.94
1年	3.09	3.44	3.13	3.15	3.03	3.12	3.13	3.01
2年	3.00	3.44	3.09	3.13	2.91	3.08	3.09	2.96
3年	2.93	3.41	3.00	3.06	2.82	3.02	3.10	2.91
4年	3.07	3.44	3.07	3.16	2.89	3.07	3.05	2.92
学部	3.05	3.44	3.09	3.13	2.95	3.09	3.11	2.97
大学院	2.96	3.30	3.12	3.10	2.71	3.08	3.11	2.87

※平均点は、「とても満足している」を4点、「ある程度満足している」を3点、「あまり満足していない」を2点、「まったく満足していない」を1点として算出。「経験していない」に関しては、平均点を算出する母集団から除いた。

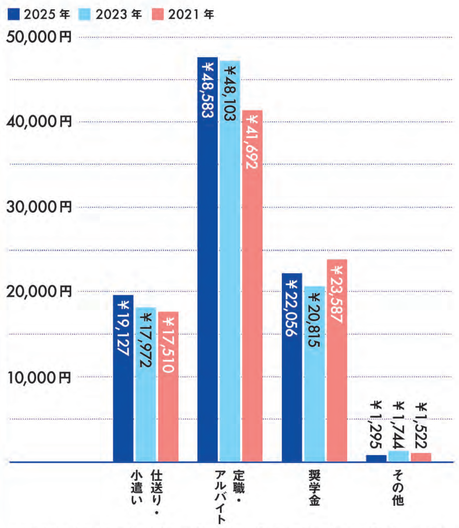
1週間の予習、復習時間



現在抱えている問題について（全学）

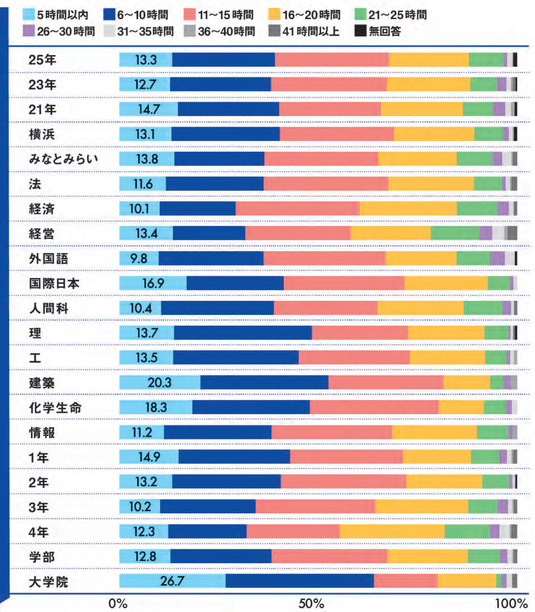


月平均収入合計（全学）

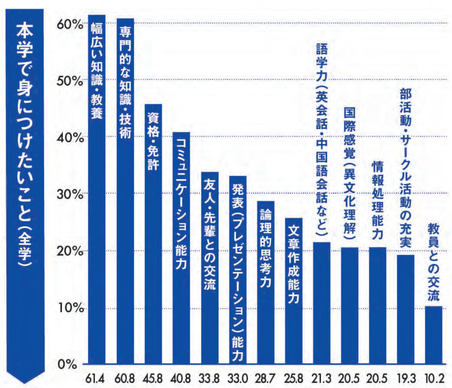


※月平均収入合計と月平均支出合計は、「なし」を0円、「5千円未満」を2,500円、「5千円～1万円未満」を7,500円、「1万円～2万円未満」を15,000円、「2万円～3万円未満」を25,000円、「3万円～4万円未満」を35,000円、「4万円～5万円未満」を45,000円、「5万円～7万円未満」を60,000円、「7万円～10万円未満」を85,000円、「10万円～15万円未満」を125,000円、「15万円～20万円未満」を175,000円、「20万円以上」を225,000円として算出。
※19年度より、「F居住費」はQ8で「自宅通学」と回答したサンプルを母集団から除外して集計を行った。

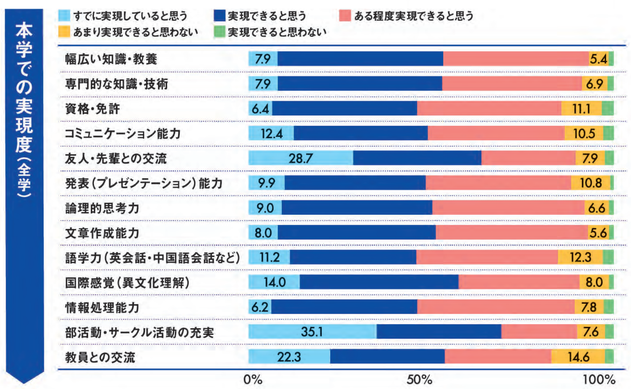
1週間の勤務時間（アルバイトについて）



本学で身につけたいこと（全学）



本学での実現度（全学）



神大スタイル 学生編集スタッフ募集！

「神大スタイル」をいっしょに つくってくれる仲間を大募集します！

企画の立案や取材でのインタビュー、写真撮影など、興味があることにチャレンジしませんか？

1年生 大歓迎！

あなたの原稿や写真が誌面に載るかも!?

お申込みはこちらから▶

お知らせ

『神大スタイルWEB』では、定期的にコンテンツを更新中！

神大スタイルWEBでは、学生たちのリアルなキャンパスライフや大学にまつわる情報を発信しています。WEB限定の記事も掲載中!

JINKANA

作：作画研究会(suguwyi)

木の枝が分かれ広がっていく様を、これまでの人生の選択に見立てました。そこから新生活で新たな舞台へ羽ばたいていく様を春風が押してくれるようにイメージして描きました。

スタッフ メンバー

神奈川大学通信 JINDAI Style 編集専門委員会

委員長
関 ふ佐子(法学部教授)

委員
角田 光隆(法学部教授)
權 純鎬(経済学部助教)
津村 将章(経営学部准教授)
チック ソニア(外国語学部准教授)
崔 瑛(国際日本学部准教授)
渡部 かなえ(人間科学部教授)
白井 直樹(理学部准教授)
松本 光広(工学部准教授)
落合 努(建築学部特別助教)
野嶽 勇一(化学生命学部教授)
森田 光(情報学部教授)
羽賀 丈雄
(企画政策部経営政策・広報担当部長)
飯塚 渉
(企画政策部経営政策・広報担当次長)
越後屋 あゆみ(広報課)
胡麻 裕宣(学生課)
山岸 恵里子(学生課)

編集担当
兎田谷 遥(広報課)

学生編集長
山崎 夏美(日本文化4)

学生広報担当
石川 悠(日本文化4)
施 宝明(法律3)
森 紫織(法律3)
藤井 彩乃(法律3)
寺元 瑛人(法律2)
岡村 みなみ(法律2)
吉原 大翔(自治4)
豊田 一花(自治3)
小山 美明(自治1)
苅谷 和美(経済4)
山口 隼叶(経済4)
星野 美鈴(経済3)
河野 健吾(経済2)
石井 暖人(人間科学1)
白井 俊寛(経営工学2)
松井 十和子(建築3)
村上 琉輝(応用化学3)
佐藤 友梨(システム数理3)
三浦 知樹(経営4)
孫 明哲(経営3)
安藤 海翔(英語英文2)
岸 凌佑(英語英文2)
遠藤 ゆきの(スペイン3)
雪江 勇太(スペイン2)
酒井 瑞菜(国際文化3)
大崎 隼輔(日本文化4)
桑島 暖(日本文化4)
徳永 広準(日本文化4)
藤原 陽菜(日本文化4)
小河原 莉子(日本文化2)
松本 しえら(日本文化2)
北上 明日雅(日本文化1)
遠藤 みづほ(理学博前2)

cover story

表紙の人

経営学部 国際経営学科 3年

三本杉 和佳 さん

男子バスケットボール部のマネージャーとして部を支えている三本杉さん。活動をとおして得た経験と、ご自身の思いを聞いてみました。

高校まで選手として続けたバスケットボールでしたが、監督からの声掛けをきっかけに、大学ではマネージャーとして競技に関わる道を選びました。大会出場の書類手続きや、学生連盟・スポンサーとの調整など、担う役割は多岐にわたり、3年生で主務を任されてからは、その責任の重さと向き合ってきました。学業と両立していくのは決して楽ではありませんが、部員からもらう「ありがとう」の一言に、大きなやりがいを感じながら活動しています。もともと内気な性格でしたが、マネージャーの活動をとおして、主体性を持って行動できるようになり、自分自身の成長も感じています。これからは、その学びを後輩へつなぎ、チームを支えていきたいです。(三本杉さん)

編集後記

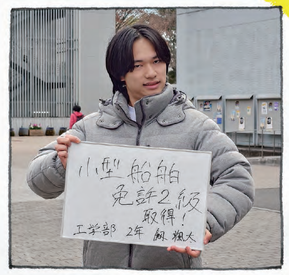
企画会議で意見を交わした時間。緊張しつつ、楽しんで取材に臨んだ時間。頭を捻りながら原稿を練った時間。取材後に、みんなとアイスを食べた時間。全ての時間が、何物にも代え難い瞬間でした。4年間の感謝を胸に、次の世代へとバトンを渡します。　学生編集長／山崎 夏美(日本文化4)

まず取材にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。この媒体をとおして、さまざまな取り組みをしている学生や企業を知ってほしく活動してきました。少しでも多くの人の背中を押せたら嬉しいです。今後も神大スタイルをよろしくお願いいたします！　学生広報担当／石川 悠(日本文化4)

年2回発行(7月/3月)　2026年3月17日発行　編集・発行｜神奈川大学通信 JINDAI Style 編集専門委員会

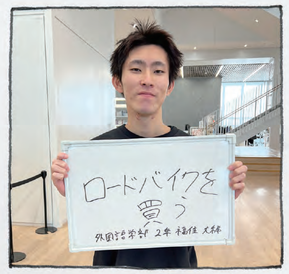
リアルな神大生の声を聞きたい！

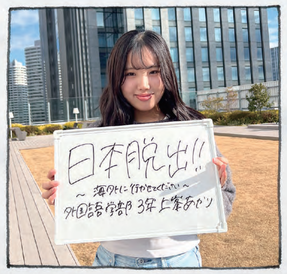
KU GRAFFITI ケーユーグラフィティ VOL.86

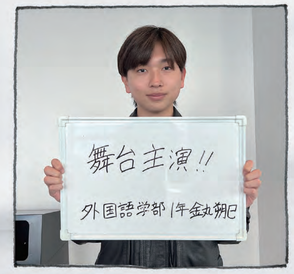


Question

この春の“目標”は？







撮影・学生編集スタッフ　吉原 大翔／山口 隼叶／三浦 知樹／遠藤 ゆきの／雪江 勇太／石川 悠／山崎 夏美／北上 明日雅／佐藤 友梨

REAL VOICE @ JINDAI ― 神大スタイルの学生編集スタッフが、取材を通じて神大生の素顔に迫ります。今回は「この春の“目標”」について、答えてもらいました。

KANAGAWA UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE 神大スタイル vol.344
2026年3月17日発行 ［編集・発行］ 神奈川大学通信 JINDAI Style 編集専門委員会 〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL／045-481-5661

JINDAI SPOT LIGHT

keywords

「命を守る」につながる競技だから
絶対に諦めるわけにはいかない
全力でやり切る姿勢を貫く

PHOTO:
吉原 大翔（自治4）

建築学部 建築学科　4年

立石（たていし） 隆真（りゅうま）さん

ライフセービング競技で世界3位に！目標は世界一、そして命を守り続けること

水難事故の防止や救助に必要な体力・技術を競う、ライフセービングスポーツ。その中で立石隆真さんが取り組むのは、IRBという競技だ。ライフセービングスポーツ唯一のチーム種目で、沖に浮かぶ要救助者役の「ペイシェント」を、「ドライバー」が操縦する船に乗った「クルーパーソン」がピックアップして浜に戻り、そのタイムを競う。立石さんは2024年の全日本IRB選手権大会で2種目優勝を果たし、また同年の世界大会では4種目中2種目で3位、残り2種目で4位に入賞。IRBで日本初のメダルを獲得した。

「私はペイシェントとして日本代表に選出されました。ハイスピードで向かってくる船を沖で待つのは、恐怖心との戦いです。またピックアップの瞬間は、クルーパーソンと連携し、動き続ける船体に的確な動作で飛び移らなければなりません」

また、立石さんは毎年7月頃から約2ヶ月間、日本一来場者が多い片瀬江ノ島のビーチで、ライフセーバーとして監視活動にもあたる。

「ときには人の死に直面することもある厳しい現場です。自分に課せられた責任の重さを感じる一方で、そんな環境に身を置くことで強くもなれました」

人命を守る役目を担いながら、大会に向けて厳しい練習にも励む立石さん。見据えるのは、2026年の世界大会だ。

「2024年にたったひとつのミスで逃してしまった優勝を、次こそ必ず掴み取りたいです。そのために、まずは日本代表権の獲得に全力を尽くします。また、卒業後は建築の勉強を続けるために、大学院に進学します。その後は建築関係の職に就くことを志していますが、ライフセービング活動は仕事と両立しながら続けるつもりでいます。これからも、ビーチを訪れる人たち、仲間のライフセーバーたちの力になり続けたいです！」